

# 霧来沢支流モウガケ沢

齋藤 宇

- 山行年月日:2022年9月17~18日
- メンバー:佐藤健 齋藤宇
- コースタイム:17日 御神楽岳登山口  
8:00~モウガケ沢出合 9:00~幻の  
滝群 11:30~林道 14:00~モウガ  
ケ沢出合 15:30  
18日 7:10 モウガケ沢出合~7:40 御  
神楽岳登山口

台風の影響で18日午後は雨。しかし沢で一夜を過ごしたいので午前中には帰れるように健さんにモウガケ沢に付き合ってもらった。行程は日尊の倉山稜線手前を林道に逃げて下山に利用。途中から支流を下り、出合で一泊し翌日下山予定。焚火の山行ができていない。沢で副産物をGETできないかと下心も。

完成した本名トンネル手前、只見川沿の側道から霧来沢林道へ。路肩には車や釣り人多く、下心はしばむ。八乙女滝の先から入渓して出合まですぐ。適地にデポしてモウガケ沢へ。右岸支流に10m滝を見てまもなく本流5m滝。左岸岩壁ホールド細かく直登断念。数段の小滝もまとめて右岸を巻く。ブッシュを使い沢床へ。直登不可の10m滝は釣り人あり。右岸を巻く。健さんリード。急で脆いルンゼから上部のブッシュ帯へ。姿が見えない。30mいっぱい動きが止まる。滝の音が大きく意思疎通はロープの感覚で。ブッシュも立っていて下降ポイントを探るが、ここも連瀑帯が続くトラバー

ス。慎重に見極めブッシュで下降。20m大滝は左岸から直登。右岸からの支流の先に草付きが広がる幻の滝が見えた。幻の滝は左岸草付きから。乾いた岩肌を選びフリクションをかけて登攀。スラブ状になり周りの尾根も見渡せるようになってきた。沢はナメ状に。ぬめりに気を付けながら延々と続くナメ滝を進む。水が枯れ藪へ。現在位置がわかるうちにコンパスで山座同定。目標は林道が湾曲した凸部。藪漕ぎ最短ルートだ。藪の中では方向感覚が狂う。コンパスで方向を頻繁に確認。目標地点にドンピシャ。例会での学びが良かった。時々復習しておくものだ。磁北線も忘れずに。地図コンパスの有効活用に満足。しかし健さんはGPSで正解を知っていました。GPSはセーフティーネットですね。



F5 20m 岩壁とブッシュの境を狙う



幻の滝群は草付きからスラブ状になっていく

